

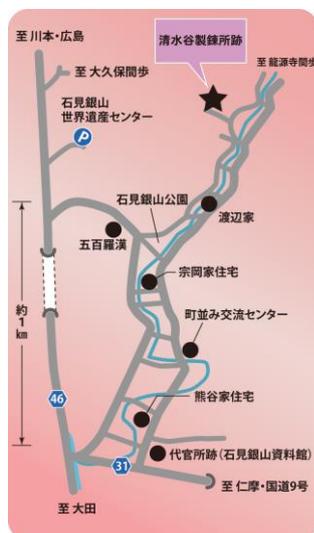
しみずだにせいれんしょあと 清水谷製錬所跡

～短期間しか操業されなかった近代の製錬所跡～



清水谷製錬所は藤田組（現DOWAホールディングス）によって明治28（1895）年から29（1896）年までの約1年半という短い期間だけ操業された近代的な製錬所跡です。

平成20・21年度に発掘調査を実施し、古写真に写っている操業当時の建物跡の基礎や多量のキューペル（骨灰皿）が見つかりました。科学調査の結果、キューペルは銀鉱石の品位分析を行った際に使用されたものであることがわかりました。このほかにもボタン型の鉛塊や坩堝、ガラスや陶磁器の容器片など、明治期の鉱山技術を解明する上で貴重な資料を得ることができました。また、製錬所周辺には鉱夫住宅跡や変電所跡、選鉱場跡、トロッコ道なども残っています。



清水谷製錬所古写真



るつぼとキューペル

大田市は、ユネスコの「平和と人権尊重」の精神に基づき、世界遺産「石見銀山遺跡とその文化的景観」の保全と活用を進めています。